
ぽかぽか。

みあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ぽかぽか。

【Nコード】
N0452M

【作者名】
みあ

【あらすじ】
中学生コ哀。
コナンが黒い・・・

いじわる（前書き）

中学生コ哀

いじわる

「んっ」

ここは、オレンち。

今日は、久々に哀で遊ぶ。

「哀、可愛い。その服誘ってんの？」

「ちっ、ちがつ／＼」

だって、そうとしか思えないだろ？

いつもより、短いスカートなんかはいちゃって、しかも肩とか出てるし。

オレ、理性ヤバイよ？動けなくなっても、知らないから。全部オメーのせいだから。

「きやつ、ちよつちよつと／＼触らないでっ」

オレはあいつのスカートの中に、手を突っ込んだ。別にする訳じゃないけど…

「もお、くすぐりたい／＼」

哀の足は、いつもスベスベ。んで、柔らかい。最高だ。

「哀、お前きのう3年のヤツとしゃべってただろ？野球部の先輩」

「えっ」

こいつ、めっちゃビックリしてんじゃん。

「ごっごめんなさい」

哀は、涙目。可愛い。

だからオレは、もっとイジワルする。

「ふーん。そうなんだ」

オレは、そう言いながら動かす手をはやめる。

「あっ／＼やつ工藤君っ！！」

オレ嫉妬深いから、許さねーぞ？

「哀、うしろ向いて」

こいつ肌、白すぎだろ。
んじゃ、いただきまあす。

ちゅう

首に、つけてやった。

そう、真っ赤なキスマーク。

「これでもうお前は、オレのものだ」

おまけ

ちゅっちゅっちゅっ

「そんなに、付けないでよ／＼」

「やーだ。あとは、胸にもつけよ」

「んあっ！！やっだめっ／＼／＼」

END

キャンデー（前書き）

新哀

キャンディー

「何食べてるの？」

あたしの恋人は高校生。

「キャンディーなめてんの。お前も、いる？」

そっぴいなながら、カバンをこそこそ探る。

渡されたのは、いちご味。

「ちがう。あたしがほしいのは、これじゃない」

そう。あたしは、もっと甘いのがいいの。

「えー。じゃあ、どれだよ？」

工藤君は、すねた。もお子供なんだから。

仕方ないわね。

「それ、ちよーだい」

子供らしい高い声だして。

「ねえ。いいでしょ？」

体をできるだけくつつけて。

「あなたの食べてるの、ちよーだい？」

今日は、おもいつきり甘えてやる。

あたしこう見えても意外と甘え上手なのよ？

「んっ」

ネクタイを引っ張れば、工藤君のそれがすぐ近くに来る。

あたしも、重ねる。

ちゅっ、くちゅ…

「ありがと」

甘い甘いキャンディー。

今はあたしの口の中。

「あっ、哀／＼」

真っ赤に顔をそめちゃって。

「返せよっ／＼」

っていつて、またキスして。

あたしも負けないんだから。

何回でも、奪ってやるわよ？

E
N
D

おフロ（前書き）

新哀

おフロ

「おはよ」

「・・・ん。あ、おはよ」

昨日は、博士が出かけていて、久々に哀と寝た。寝たっていつても哀は12歳。

もちろん、一緒に布団で寝ただけ。

なにもしてないから、それぐらいいいだろ。

「あたし、おフロ入ってくる」

その言葉で、オレは朝から頭がさえる。

「一緒に、はいろつか」

「は？」

いいじゃん。見ても減るもんじゃない。

これぐらいないと、オレも結構キツイ。

「きゃあっ」

哀を抱き上げ脱衣所に向かった。

「へえ。ブラとか着けてんだ？」

哀は小6のわりに、結構スタイルがいい。

イギリスとのハーフだからかな？

「なっ、なによ／＼着けたら悪い？」

「かわいー。赤くなってる。」

「うっん。ぜんぜん」

もちろんオレも男だし？

こんな哀、見ていいのはオレだけだし。

「さっ。入ろつか？」

「うっ。うん／＼」

あれ？

今思うと、コイツとフロ入るの初めて？

コナンの時、入ったわけ？
いーや。入ってないな…
やっぱり初か。

だからコイツ赤くなってるんだ。

確かに、こんなしつかり見た記憶ねーな。

「あたし、先洗っていい？」

「んー。洗ってやろうか？」

「は？」

なに言ってるんだオレ。

哀はまだコドモだぜ？

「うん」って言うわけないじゃん。

「いいわよ？」

「え？」

オレは耳を疑った。

「だから！洗いたいんでしょ？

いいわよ？洗っても」

「ふー。さっぱりした」

哀の肌はすべすべだった。

やらかったし。

ちよつと生えてたし…／／

って、何考えてんだオレ。

理性もたないって／／

「また、入るーな？」

「どこにじゃ？新一。よく説明してもら わんとなあ」

「はっ。博士！？なんでいんだよ！！」

「用事が早めに終わったんじゃない！！」

まさかの博士が帰ってきてて、この後こっぴどく怒られたオレだった。

E
N
D

寝返りで見えそう！（前書き）

新哀

寝返りで見えそう！

「んっ、んう…」

「哀ー？まだ、起きねえの？」

オレと哀は昨日の晩寝た。

付き合つて3年目、哀は15歳。

時々、シそうになった時もあつたけどなんとか抑えて来れたオレは結構すごいと思う。

抑えたかは微妙だけど、入れてなかったし…

触ったりはしてたけど、まあ大丈夫だろ。

「んあ…」

可愛いつ／＼寝顔やべえな…

ああ…また触りたくなってきた

早く起きてくれないかなあ？

「んん…」

ばさっ

「！！！！／／／」

……っ！！

なんだこれっ／／

なんだこれっ！？！？

うわあー！！！！

やばいつ／／／やばい！！

どうしよう…

丸見えじゃんっ／／

触りてえよお。

あっ、キスマーク残ってる。

ちゃんと服に隠れるようにしたんだけど、ムリかなあ…

ああ、柔らかそうだなあ。

コイツって華奢なわりに、胸デカいし／／
「んあっ、うん」

ばさ…

うつ／／／

下も見えそうっ！！

あー、我慢我慢我慢我慢我慢…

早くおきろよ。

起きたら容赦しねえぞ？

イヤって言っても、やるんだから…

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0452m/>

ぽかぽか。

2010年10月10日05時58分発行